

心理・教育実践学 専修紹介

子どもの成長と
教育実践の事実
寄り添いながら
未来への可能性を
語り合う



今、学校では問題が山積しています

- コロナ禍における休校や学習保障、感染防止対策
- グローバル化と多文化共生の課題
- 情報化社会の進展とICT（情報通信機器）の活用
- 貧困や親子関係など家庭環境の子どもへの影響
- いじめ、不登校、体罰など、子どもの人権にかかわる問題
- 地域社会が抱える問題と子どもの生活への影響
- 子どもの学習意欲や自己肯定感の低下
- 発達に課題のある子ども
- コミュニケーションと人間関係
- 学力向上と授業改善、カリキュラム・マネジメント
- 教育評価の改善
- 教師の専門的力量の向上と働き方改革

私たちは
このような問題に
どう向き合い、
どう乗り越えていけば
よいのでしょうか？

心理・教育実践学専修では

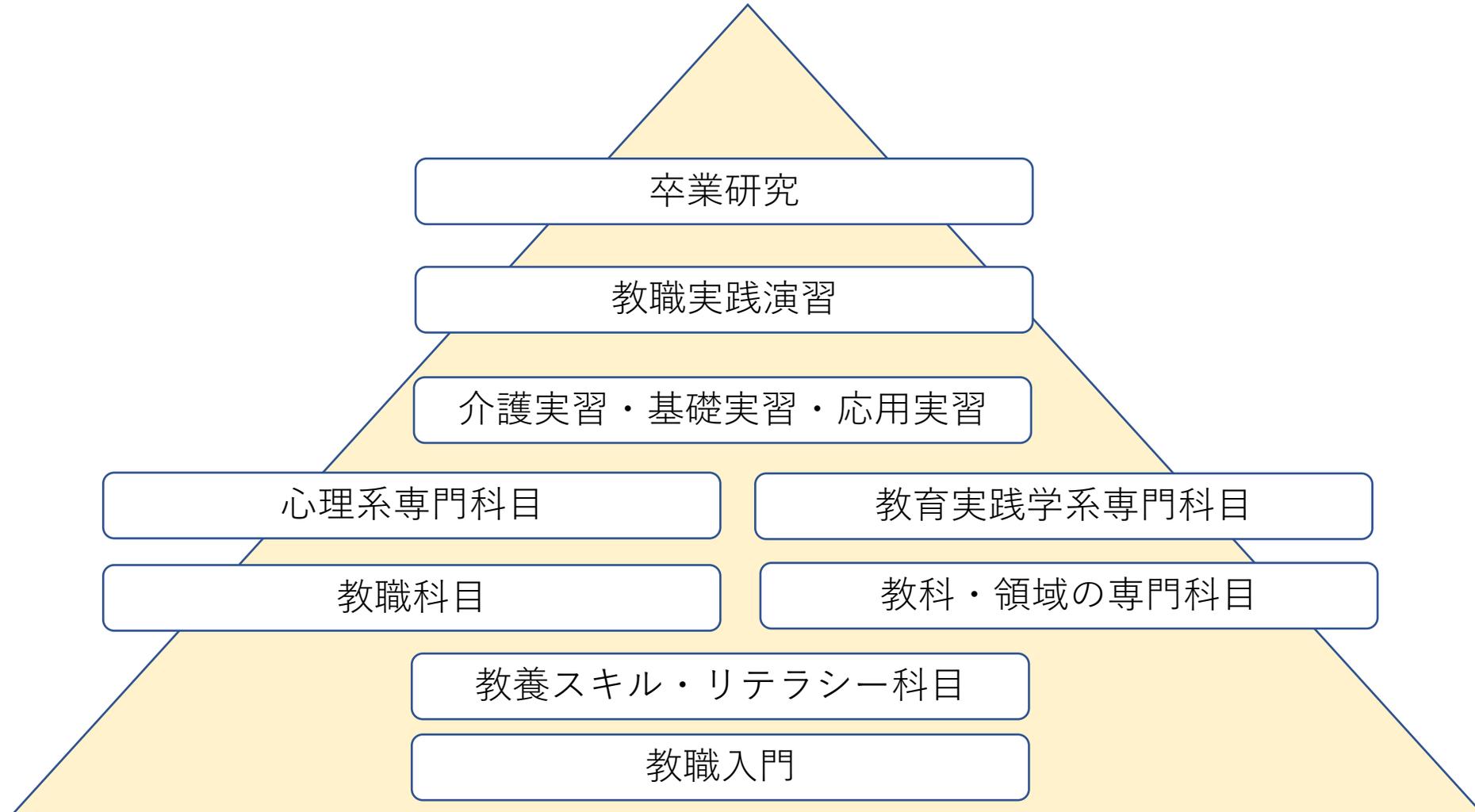
- 子ども理解につとめ、子どもの成長に寄り添い
- 教育現場の事実と対話することを通して、学びを深めます。

- 学校に出かけて、教師と子どもが作り出す教育実践の豊かな様相を見つめながら、教育実践の在り方について考えていきます。
- 子どもの発達、学習、人間関係や社会関係、人間形成など様々な側面から子ども理解を深めていきます。

学校現場の問題に真剣に取り組み、

- その問題の解決のために必要なことを探究しています。

入学後のカリキュラム



心理学系専門科目

心理・教育実践学入門
心理系（必修）
発達心理学概論
教育評価概論
カウンセリング概論
他

教育実践学系専門科目

教育における臨床の知
教材づくりと授業展開
学校・地域とカリキュラム編成
教師の成長と教師教育
メディアと学習支援
他

2年次に、心理学系か教育実践学系か、どちらかの履修類型（所属するゼミの領域）を選択します。「心理・教育実践学入門心理系」以外の科目は、どちらの類型を選択しても全員が自由に選択できます。

心理学系専任教員

萩生田伸子 心理データ解析

教育評価

中井 大介 発達心理学

学校心理学

2025年度採用予定

学校臨床心理学

教育実践学系専任教員

船橋 一男

生活指導

子ども研究

岩川 直樹

学習臨床

人権教育

宇佐見香代

生活科・総合

教師論

磯田三津子

教材開発

多文化教育

野村 泰朗

教育工学

情報教育

取得できる教員免許

主免許：専修学生の全員が取得します。

小学校第一種教員免許

副免許：希望する校種や教科の免許取得に必要な講義科目を履修して取得します。

幼稚園教員免許

中学校教員免許

高等学校教員免許

特別支援学校教員免許

詳しくは『埼玉大学教育学部案内』に掲載されています。

【参考】

2024年3月に卒業した専修学生の副免許状取得状況です

中学校	国語1種3名		
	英語 1種3名・2種3名		
	数学1種1名・2種1名		
	家庭科2種1名		
高等学校	国語1種3名	数学1種3名	英語 1種3名
特別支援学校	1種6名		
幼稚園	2種 2名		

卒業後の主な進路

教員 小学校
中学校
高校

公務員
民間企業

大学院進学

-
- 心理・教育実践学専修の学生は、2年次に、心理系と教育実践系に分かれ、その後、それぞれのゼミに所属して卒業研究をすることになります。
 - 心理系と教育実践系のそれぞれの説明については、別途、紹介動画を作成しましたので、そちらをご覧ください。なお、心理系動画は2024年度現在の紹介になっています。